

浴衣にも似合う!

# 「アップスタイル」で 夏髪美人

夏はファッションだけでなく、ヘアスタイルも涼しげにしたいもの。そこで、スタイリストの幅野ひろえさんに、自分でできるアップスタイルのやり方を教えてもらいました。小物をプラスすると、浴衣にもぴったりです。基本的に、三つ編みや「ねじり」の組み合わせなので、難易度は高くありません。最初はうまくできなくても、何度か練習するうちにきれいに仕上げることができますので、ぜひチャレンジしてみてください。



広告や雑誌の仕事で活躍するスタイリストの幅野ひろえさん。「三つ編みにする時やゴムで結ぶ時に、左右どちらかに寄せながら編んだり結んだりして全体的に斜め方向にまとめる」と、スタイルに変化が出るうえ、髪飾りのバランスもとりやすくなりますよ」とアドバイスしてくれました



## すべてのスタイルに共通する基本

◆必要な道具は、コーム(くし)、ヘアスプレー(キープタイプ)、シリコンゴム、アメピン(アメリカピン)、Uピン、ダッカール(ヘアクリップ)など。浴衣に合わせる場合には、写真のような小物も。「小物は、100円ショップで売られている造花を切ったり、パール状のボタンをUピンに通したりと工夫すれば、経済的ですよ」と幅野さん。

◆手順のたびに、結んだり編んだりした部分をヘアスプレーでキープさせたほうが、途中で崩れる心配がありません。また、最初にクリーム状のワックスを髪全体につけたり、カーラーなどでクセをつけておくと、まとめやすいです。

◆ゴムで結んでまとめていく時には、頭頂部をふくらませるイメージで、結び目より上部分の髪を結び目から引き出すとおしゃれな印象に仕上がります。

### ロングヘア の場合 パターンA



1 頭頂部の髪をふくらませながら上半分の髪の毛をとり、右側に寄せて三つ編みにする。シリコンゴムで結ぶ。



2 下半分の髪の毛をとり、左側に寄せて三つ編みにし、シリコンゴムで結ぶ。



3 2の三つ編みの髪を、反時計回りにくくるりと巻いて毛先を中に入れ込みながら「団子状」にまとめ、アメピンで固定する。襟足ギリギリの高さにまとめる。

4 1の三つ編みの髪も同じようにくくるりとまとめ、アメピンで固定して完成。

三つ編み部分があまり目立たないの  
でかわらしくなります。  
年代を選ばないスタイルです。



浴衣に合わせるなら、和柄のダッカールやかんざしをプラス。

# ロングヘア

の場合

パターンB



# ミディアムヘア

の場合

パターンA



5 4の毛先を内側に入れ込み、アメピンで留める。この時、1のゴムを隠すようにする。アメピンは見えても良い。また、このあとバレッタ等を着けるので、ゴムから出た短い毛も気にしなくて良い。

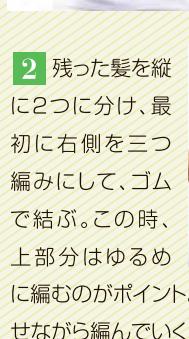
後れ毛が大人っぽい印象に。洋服に合わせる時には、ゴムの部分をバレッタではさみます。



# ミディアムヘア

の場合

パターンB



5 次に、3を4の下に入れ込み、毛先と1のゴムを隠しながらアメピンで固定する。これで完成。



浴衣の時の髪飾りは花だけでも良いですが、パール状の小物をプラスするとさらに華やぎます。